

めだかの学校 一年間のあゆみ

<テーマ>



さあ行こう！ 芦田川探険



《 活動内容 》

4/29 総会（交流会）・・・・・・・・・・・・・3	9/28 ウェットランド植物調査・・・・・・・・15
6/8 河佐峡自然観察・・・・・・・・・・・・・4	10/19 魚調べ・・・・・・・・・・・・・18
7/6 芦田川一斉清掃参加・・・・・・・・・・・・・7	11/30 バードウォッチング・・・・・・・・21
7/28 水生生物調査（府中新橋下）・・・・・・10	11/30～ 壁新聞作り・・・・・・・・・・25
9/7 川の通信簿・・・・・・・・・・・・・13	

《 めだかの学校に参加して 》

めだかの学校の活動は、今年で16年目です。上流の河佐峡には緑豊かな自然があり、「フタバアオイ」という貴重な植物を見ることができました。府中新橋下の水生生物調査では、昨年見つからなかった「コガタシマトビケラ」に会えてほっとしました。水質の総合評価はややきれいな水でよかったです。川の通信簿をつけようという行事では、4地点で川への近づき易さ、散策のし易さなどいろいろな角度から水辺公園を点検しました。普段土手から見ていたのでは分からない実情が見えてきて、もっと芦田川のことをみんなに知ってほしいと思いました。ウェットランドで調査をしてみて、水の浄化に役立つ「ヨシ」や「ショウブ」の植物がどんどん増えたらいいと思いました。魚調べでは「アカザ」がこの10年の中で1番多く見つかりうれしかったです。「シマドジョウ」が見つからず残念でした。バードウォッチングでは準絶滅危惧種の「ミサゴ」がかっこよく飛んでいました。芦田川には美しい自然があり、水の中の生き物や鳥たちもたくさん確認できました。これらの生き物が住みやすい環境であるために、私達の芦田川を大切にしていきたいです。

リーダー 岡田桃佳 早川成穂

《 第16期生名簿 》

名前	学年	名前	学年	名前	学年	名前	学年
桃 佳. O	中3	美有香. M	中1	彩 乃. Y	4	に こ. N	2
成 穂. H	中3	咲 葵. T	中1	昂 生. T	3	諒 大. M	1
悠 平. T	中2	創 志. I	5	暁 彦. I	3	未 来. K	1
雅 樹. F	中2	悠 真. H	5	航 . K	3		
朋 花. I	中1	陽 大. K	5	一 葵. N	3		
日向子. N	中1	佳 那. T	4	颯 天. M	3		

《 サポーターの感想 》

めだかの学校は芦田川の自然と触れ合いながら、いろいろな生き物の調査活動を16年間続けている。今年は、8月の台風や大雨の為、磯の生き物調査と中津原の水生生物調査が実施出来なかった事がとても残念だった。しかし、今年も小・中学生とその親が各種行事に参加し、出会った生き物を通じて環境や生命の大切さを学んだ。親子の参加によって学習効果も深まり、環境保全に対する意識も強まっているようだ。

行事を振り返ると、自然観察では葉や実、ツルを見たり、触ったり、匂ったりしながら植物の特徴を観察したり、人の生活が自然と関わっていることを学んだ。改めて河佐峡の豊かな自然を実感した。

水生生物調査では、きれいな水に棲む指標生物が3種類と、きれいな水にも見られるチラカゲロウが増えていた。今回アミメカゲロウも見つかり、カゲロウ類は3種いた。水質が良くなっているものと思われる。

魚調べは子ども達が最も楽しみにしている行事の一つだ。今年も貴重種のアカザが見つかり、また、15種類のたくさんの魚を捕まえる事が出来た。この豊かな芦田川を大切に守っていきたいと思う。

バードウォッチングでは準絶滅危惧種のミサゴを今年も見ることが出来た。広島県ではここで見られないカンムリカイツブリやたくさんのホシハジロも確認できてよかった。

これらの活動の成果を壁新聞展示や報告集配布等を通じて地域へお知らせしていることが、河川愛護への啓発的役割という面で一助を担っているものと捉えている。



《 スタッフ 》

顧 問	尾島勝（福山大学名誉教授 工学博士）
サポーター代表	大野里子
サポーター副代表	北川明美
サポーターリーダー	岡田久恵 幸田知左 早川知江 高橋智徳
行事指導員	岡田和也
会計監査	大平洋子

2014年度 交流会



(めだかの学校総会)



今年もめだかの学校が始まります!!

「めだかの学校」では、芦田川にすむ生き物や水質調査などの活動を通じて、芦田川の環境について楽しく勉強しています。さあ、今年は、どんな発見や出会いがあるのかな？

日 時 2014年4月29日(火) 10:00~12:00

場 所 芦田川河川広報室 見る見る館

参加者 メンバー19名 保護者12名 幼児6名 役員8名

国土交通省福山河川国道事務所・調査設計第1課 坂田重美様

～ 内 容 ～

- 1 開会挨拶・来賓紹介 大野
- 2 2013年度決算報告・2013年度会計監査報告 岡田 田中
2014年度収支予算案
- 3 2013年度行事報告 2014年度行事予定 桃佳 成穂 雅樹 悠平 朋花
- 4 役員紹介(自己紹介)
- 5 リーダー紹介(自己紹介)
・リーダー 桃佳 成穂 ・副リーダー 雅樹 悠平 朋花
- 6 芦田川の魚クイズ 幸田
・魚の名前当てクイズ(カワ〇ガイや〇ナガニゴイなど難しい名前も答えることができた。)
・好きな魚にシールを貼る。(1番の人気はナマズ、次はアカザとカネヒラでした。)
- 7 メンバー自己紹介
- 8 「芦田川クリーン5」の紹介 国土交通省 坂田様



～2014年度行事計画案～

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 4/29 総会(交流会) | 8/24 水生生物調査(中津原取水堰下) |
| 6/ 8 河佐峡自然観察 | 10/13 魚調べ |
| 7/ 6 川の一斉清掃 | 11/30 バードウォッチング |
| 7/下旬 磯の生き物調べ(仙酔島) | 11/24～ 壁新聞作り |
| 8/月上旬 水生生物調査(府中新橋) | |



「めだかの学校」は今年で16年目に入った。私達の活動は、国土交通省・福山市・顧問の尾島先や、各専門分野での地域の指導者の方々に支えられて活動をしている。

調査を行うたびに、出会う生き物の種類や数が毎年違っている。メンバーの皆さんには、その変化に気づき、いろいろな生き物が場所ごとにその環境に合わせて、知恵と工夫をこらして生きている様子をしっかり観察して欲しい。今年はどうな出会いや発見、驚きがあるのか楽しみにしている。

サポーターより

自然観察

～葉っぱを集めてクラフト作り～

日 時 2014 年 6 月 8 日 (日) 8:00～16:40
場 所 府中市 河佐峡
講 師 中村隆嗣先生
参加者 メンバー 16 名 家族 16 名
サポーター 大野 北川 岡田 幸田



目 的

新緑の河佐峡で、木や草の育ち方、葉の付き方・色・手触り・形・匂いなどを観察し環境保全の大切さに気づく。採集した葉で作品を作る。



内 容

10:10 集合・オリエンテーション

- ・川の流れの音を聞きながら歩くなど、自然を感じながら観察する。
- ・植物によって、それぞれ葉の形状が違うのでしっかり観察する。
- ・必要ないものは採らない

10:30 自然観察と葉っぱ集め



バス行程

往路 8:00 福山駅北→8:10 みやび前→8:30 東部市民センター→8:40 春日啓文社→9:00 フジグラン前→10:00 河佐峡入口→河佐峡まで移動（徒歩 10 分）
復路 16:00 見る見る館→16:10 福山駅北→16:20 みやび前→16:30 春日啓文社→16:40 東部市民センター



＊葉の表は、太陽の光をよく吸収するため光沢がある。

葉の裏には、空気や水分の出口があり、それを守るため、葉は下を向いている
ソメイヨシノ…葉の根元に蜜腺が2つある。皮は工芸品に使われる。

古くなると幹に地衣類が生える。

アカメガシワ…若芽を食べる。クサギに似ている。

クサギ…芽を茹でて食べる。

ヘクソカズラ…秋に黄色の実をつける。葉っぱをもむと匂い（悪臭）がする。

ヌルデ…かぶれる。葉の数え方が異なり、7枚付いた1節が1枚の葉で複葉と言う。

他にもホングルミ、ヤマフジ、ハリエンジュなどがあり、

1番大きい複葉はタラの木。

ウツギ…白い花が咲いている。茎の中が空洞。葉の周りにギザギザがある。

（鋸歯）透かして見ると葉脈が見える。

ウルシ…かぶれる。

フタバアオイ…貴重な植物なので採らない。

エビツル…これから花が咲く。紫の実が付き食べられる。

アザミ…花を触ると、雄しべから花粉を出す。芽は食べられる。

タラヨウ…葉の裏に字が書ける。郵便物として使用できる。昔は、メモに使った。

イタドリ…漬物や山菜料理。

ヨモギ…もぐさを作る

タケニグサ…大きくなると竹のようになる。

サルトリイバラ…柏餅の葉。トゲがある。

サワグルミ…食べられる。

ホングルミ…茶色の実が付く。食べられない。

シシガシラ…シダ類。下の芽から編んで遊ぶ。

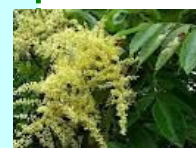
シバクリ…雄花が白く咲いていて、その根元に雌花がある。

チヂミザサ…ササに似ているが草で、ササは木に属する。

ホウ…葉の上で魚などを焼く。（ホウ葉の包み焼）



ソメイヨシノ



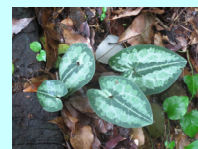
ヌルデ



ウツギ



タラヨウ



フタバアオイ



ホングルミ



サワグルミ



11:50 自然観察終了→河佐峡入口まで移動 12:10 バスで見る見る館に移動 13:10 昼食・休憩
14:00 採集した植物で工作 15:00 作品展示 写真撮影 15:45 後片づけ 終了



2008年以来6年ぶりの河佐峡。豊かな自然も変わらず、貴重な植物のフタバアオイも以前より植生範囲が広がって生えているのを確認でき、安心して自然観察を楽しむことが出来た。中村先生より、植物の説明を聞きながら、葉っぱを見たり、触ったり、匂ったりしながら植物の特徴を学習した。子ども達は、それぞれの植物の葉っぱが異なることに感心したり、驚いていた様子だった。葉っぱを使った作品は、葉っぱやつるの特徴が生かされたものや、ユニークな発想のものなど、改めて子ども達の創造力の豊かさを実感した。

指導して下さった中村先生ありがとうございました。

サポーターより



感想



今回の行事はとても久しぶりで楽しかったです。いろんな葉っぱ1つ1つにその葉の特徴があり、すごくおもしろかったです。また、私は作品作りがとても苦手なので、あまりいい作品が作れなかったけど、葉っぱで1つの作品を作るのってすごくいいなと思いました。 桃佳

山の中の感じや川の感じを楽しみながら、葉やつたをとるのは楽しかったです。リースもうまく作れてうれしかったです。また同じような行事をしてほしいです。 創志

私が知らない植物がたくさんありました。説明を聞くのも楽しかったし、その植物の特性を使って工作をするのも楽しかったです。植物の特性など勉強になりました。 朋花

河佐峡は自然豊かでさまざまな種類の植物がありました。ああいった豊かな場所で自然観察できていい経験になりました。作品作りでは、僕はいい作品を作ることはできなかったが、他の人はとてもいい作品を仕上げていました。そういう意味でも勉強になりました。 雅樹



タラヨウの葉が心に残りました。おばあちゃんに手紙を書きたいです。鳥を葉っぱで作ったりして楽しかったです。 日向子

自然観察をしてそれぞれの植物について学ぶことができました。また、葉の特徴を生かして作品を作りました。私は、自然観察をすることで、想像する力、表現する力がついたと思います。これからの行事でたくさん思い出をつくっていききたいです。 咲葵

今日自然かんさつにさんかして、しょくぶつの葉の形がしゅるいによってずいぶんちがっていてびっくりしました。葉っぱにギザギザがついているしゅるいと、ついていなくて葉先が丸いものがありました。とてもしゅるいが多かったです。 昴生

ぼくは、河佐峡へ行き、色々な木や葉などの名前が分かったので勉強になりました。木の葉で作品を作るのは、思い通りにならなかったけど楽しく出来て良かったです。それと色々している内に知らない子とも話をしなかなよくなったからうれしかったです。 陽大

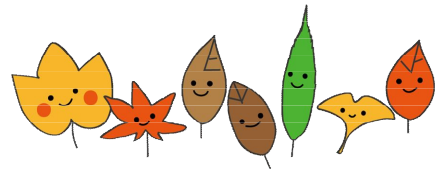
きょうこころにのこったことは、タラヨウのことです。うらにしがけるなんてすごいなあとおもいます。わたしはともだちのかえらちゃんに出すつもりです。タラヨウは、きっとをテープではるなんておもしろいですね。中村先生ありがとうございました。 にこ

じめじめして、ひかげで、すこし水があった所に、サワガニがいたので、とてもびっくりしました。工作で思いどおりのとは、ちがうのができたけどあれは、あれでよくもきにいったので楽しかったです。また行きたいです。 わたる

いろんな葉っぱがあることがわかって勉強になりました。郵便葉っぱや匂いが出る葉っぱが面白かったです。 諒大

みんなでたんけんして、いろんなしょくぶつのなまえをおしえてもらったからべんきょうになりました。タラヨウのはっぱをはじめてしったのがうれしかった。はっぱでかおをつくったことがたのしかったです。 ひかり

はっぱとりをして、さくひんをつくったのがたのしかったです。またいろんなものにチャレンジしてみたいです。 りお



保護者の感想

- ◆植物を1つ1つ細かく説明して下さり、とても分かりやすかったです。においをかいだり、葉の表面にさわったり、日にすかせてみたり、それぞれの葉の特徴がよく分かりました。葉っぱの作品作りでは、子ども達の発想の豊かさにとっても感心しました。
- ◆いろいろな植物の種類や成り立ち方を教えて頂き、勉強になりました。緑の中を歩くのも、とても気持ち良く、楽しかったです。子ども達が興味いっぱい、とてもいきいきと葉っぱや木の実などを集めている様子が印象深かったです。
- ◆久しぶりの河佐峡での自然観察を楽しむことができました。新緑がきれいで、日ごろの疲れが癒されました。フタバアオイが前回よりも数が増えているような気がしました。もしそうなら希少価値のある植物が住みやすい環境ということなので、ずっと変わらずこの自然を守っていききたいと思いました。
- ◆葉の形、匂い、大きさ、色、観察するといろいろな違いがよく分かり勉強になりました。午後からの工作も個性豊かな作品が並び、子ども達ってすごいなと思いました。
- ◆身の周りの植物に目がいて、とても楽しく学習することができました。親が知らない事も多く、一緒に学ぶことができて良かったです。たくさんのいのちを感じる事ができました。タラヨウの葉っぱは、持ち帰り、お手紙として出してみました。
- ◆ちょうど梅雨の中休みで、過ごしやすい気候の中、色々な事を知る事が出来て良かったと思います。実際に葉をさわったり、においをかいだりしながら、分かりやすい説明をいただき、ありがたい事だと思いました。
- ◆最後に葉っぱを使用した作品を見て一人一人違った感性に感心しました。お菓子をいただいたりサポーターの方々の心遣いに感謝いたします。ありがとうございました。
- ◆今回が初めての参加でした。自然の中を子どもと歩き、植物の名前等いろいろ説明して頂きながら子どもだけでなく私も、いろいろ勉強させてもらいました。今後山に行く事があったら、また別の楽しみ方が増えました。ありがとうございました。
- ◆初めて参加させてもらいましたが、普段、自然を身近に感じて、触れ合う機会が少なく、今回のような企画を提案して下さり有り難うございました。川のせせらぎ音が心地良くてとてもリフレッシュ出来ました。また色んな行事に参加したいと思います。

芦田川一斉清掃

日時 2014年7月6日(日) 9:00~10:00
場所 芦田川大渡橋下河川敷~チャプチャランド(水辺公園)
参加者 メンバー 15名 保護者 12名 幼児 5名
サポーター 大野 北川 岡田 早川 高橋



目的 芦田川一斉清掃に参加して、ゴミを収集し環境保全のあり方を考える。

内容 ・チャプチャランドと芦田川大渡橋までのゴミを拾う。

・集めたゴミを3種に分類する。

- ① 空き缶・ビン類(中に入っているゴミや土・砂を出しておく。)
- ② 燃えるゴミ(紙、プラスチック、流木)
- ③ 不燃ゴミ(空き缶・ビン等で破損・汚れの多い物、他)



他の団体が清掃した後だったのか、ゴミは少なかった。いつもなら、岸部の川底に埋まっている空き缶をよく拾い上げていたが、今回はそこにもゴミはなくきれいだった。子ども達が草の間の小さなゴミを一生懸命拾っているのが印象的だった。集めたゴミでは、ペットボトルが一番多かった。ビールの空き缶やゴルフボール、タバコの吸い殻など明らかに大人が捨てたと思われるゴミも多くあり、とても残念に思った。参加されたみなさん、大変お疲れ様でした。
サポーターより

~保護者の感想~

- ◆ 私達の前に町内の方が清掃されていまして、ゴミが少なかったのではないかと思います。しかし、ビールの空き缶などは、大人が捨てたゴミです。大人が子どもの見本となって、ゴミを捨てないという意識を多くの人に持ってもらいたいです。
- ◆ 例年よりゴミは少なかった気がしますが、水の中のゴミを拾っていた子ども達は、カン等をたくさん拾いあげていました。水量が多かったので水中のゴミはたくさんあったのではないかと思います。ゴミを拾わなくてもいい川になってほしいと思います。
- ◆ 連日暑い日が続いていましたが、子ども達は頑張って川のゴミ拾いをしてくれました。普段の生活の中でもできるゴミ拾いや環境に優しい生活を心がけるようにしたいと思います。
- ◆ ゴミを捨てる人もいますが、拾う人もいます。捨てる人が減って、拾う人が増えるといいな。その一人になっていけたらいいなと思いました。
- ◆ 参加してみて、ゴミを探すのが大変なくらいきれいでした。たまに見つかるゴミを袋に入れるのがうれしいぐらいでした。いつも、このような状態がキープできればいいですね。
- ◆ これからも、子どもと一緒に続けていきたいです。
- ◆ 今回の一斉清掃では、ほとんどゴミはありませんでしたが、川から流れ着いたゴミより、土手の斜面に、車から投げ捨てたと思われるゴミが目につきました。市民みんなの意識が変わるといいですね。
- ◆ 意外と草むらや砂地に半分埋まったような形でゴミがありました。毎年少しずつコツを覚えていっているように感じます。
- ◆ 今年は曇り空のおかげで作業がしやすかったです。とてもゴミが少なくきれいでした。環境問題に皆が関心を持ってきれいな川を守っていけたら嬉しいです。
- ◆ 河川の掃除をたくさんの方がして下さっているようで、小さなゴミしかない状態でした。よい経験になりました。
- ◆ 今回が初めての参加でした。大きなゴミはあまり見つかりませんでしたが、駐車場辺りにはたばこの吸い殻が多く、子どもに「どうして大人なのにゴミを捨てるんだろうね?」と聞かれ、言葉に詰まりました。みんながゴミを捨てない、持ち帰るという意識を持つのはそんなに難しい事なのかな?? これからも機会があれば、清掃活動に参加したいです。



感想

一番心に残ったことは、思っていたよりもゴミが少なかったことです。でも、川岸にはビンやペットボトルとかのゴミがありました。どうしてゴミを捨てるんだろうなと思いました。ポイ捨てとかをしないでほしいです。

桃佳

芦田川の清掃を行いました。僕は石と石の間に挟まった空き缶を拾うために、太ももあたりまで水につかりながらやりました。思ったよりたくさんゴミを拾うことができました。積極的にゴミを拾って、芦田川をきれいにしていけたらいいなと思いました。 雅樹

今回のチャプチャランドでのゴミ拾いは少し前に他の人たちが拾っていたということもあって、例年より量が少なかったです。しかし、カンやビニール袋、ゴルフボールなどが見つかりました。誰かが拾わなくてもゴミのない、きれいな川になってほしいなと思いました。

成穂

ぼくは、芦田川のそうじをしました。本来なら、川にゴミがあるのは、おかしいことだと思います。だから、カン、ビン、ビニール袋のポイ捨てを早くやめて、自然がたくさんある芦田川になってほしいなと思います。 悠平

ゴミ拾いなので、たくさんあると思ったけど、あまりなかったので「この川はキレイだな。」と思いました。いつまでもこのキレイな川を守ってみたいです。

日向子

前に別の団体がやっていたので、総仕上げができたと思います。ただ見わたしたところ、大きいゴミが見つからなかったのも、やりがいはありませんでした。草の間などにゴミなどがかくれていたのも、捨ててあるゴミをすべてひろうのはむずかしいな、と思いました。

朋花

昨年度は、ゴミがいっぱいあったんだけど、今回は、少なく、芦田川をきれいにしているのかなと思いました。チャプチャランドは、草や木のぼうがたくさんありました。

これからも自然を大切にしたいです。 佳那

私は、一斉清掃で勉強になったことがあります。初めは、立ちながらゴミを探していたんですが、全然見つかりませんでした。しかし、少し背を低くしながら探すと、つぎつぎにゴミを見つけることができました。一斉清掃をして、芦田川がきれいになって良かったです。 咲葵

何かのほねがあって、さわってしまいました。それで家に帰ってシャワーをあびました。

いろいろなゴミが見つかって良かったです。たまごがかえたあとがありました。たくさんあってので、何のたまごかとても気になりました。

わたる

去年よりゴミが少なくてきれいでした。あまりゴミが見つからないからバツタをつかまえていました。つかまえたバツタをいもうとにあげてまたさがしにいきました。楽しかったです。

はなびやたばこのゴミがとくにおおかったです。みんながゴミをすてなかったら、もっときれいなまちになるとおもいました。

ひかり

ゴミがけっこういっぱいあったから、びっくりしました。とくにタバコのゴミがいっぱいでした。 にこ

前のグループがした後でも、ゴミがまだありました。草の中から見つけるのが、おもしろかったです。 創志



府中新橋下 水生生物調査

国土交通省主催行事

日時 2014年7月28日(月) 9:45~11:30

場所 府中新橋下

参加者 メンバー 6名 家族 5名

サポーター 大野 北川 岡田

＊ 目的 ＊ 国土交通省主催の水生生物調査に参加して、府中新橋下付近の水生生物を調査し水質判定をする。

＊ 内容 ＊

9:50 パックテスト (COD)

・判定結果…ややきれいな水 (4グループが行い、5~10の値)

10:00 説明、諸注意 ※低学年と高学年の4つのグループに分かれて採集する。

10:10 水生生物の採集

- ① 下流側に網をかまえてから、石を集めバケツに入れる。
- ② 石をとった時にはなれた虫や、川底にいた虫を網の中へ追い集める。

10:50 グループ毎に集めた水生生物をシャーレに分類、集計して水質の判定をする。

☆諸注意☆

- ・小学生はライフジャケットを着用する。
- ・深い所には行かない。
- ・低学年は川岸に近い所、高学年は川の中ほどの少し流れの速い所で調査。
- ・石がヌルヌル滑りやすいので気を付ける。

水生生物 (指標生物) の集計

◎…たくさんいた生物

水質階級Ⅰ	水質階級Ⅱ	水質階級Ⅲ	水質階級Ⅳ
きれいな水	ややきれいな水	きたない水	大変きたない水
 ナガレトビケラ  ナミウズムシ  カワゲラ	 ◎ヒラタドロムシ  ◎コガタシマトビケラ  ◎カワニナ  コオニヤンマ  ◎オオシマトビケラ		

＊その他に見つかった生物＊

チラカゲロウ タニガワカゲロウ ヒゲナガカワトビケラ アミメカゲロウ エビ アメンボ

水質判定結果 水質階級Ⅱ ややきれいな水

11:40 調査終了

今回は、「ややきれいな水」に棲む生物の数や種類がたくさん見つかった。長年見つかった「きれいな水」のヒラタカゲロウが今年は見られなかったのが残念だ。しかし、「きれいな水」と「ややきれいな水」の両方で見られるチラカゲロウが増えていた。新たにアミメカゲロウも見つかった。シマイシビルなど「きたない水」の生物が見つからなかったことなどから、少しずつだけ川の水がきれいになってきているのかなと期待したい。

指導して下さった国土交通省のみなさん、有り難うございました。

サポーターより

～感想～

一番心に残ったことは、カワゲラやナガレトビケラやナミウズムシなどのきれいな水に住む生物がいっぱいたったことです。水質の評価はややきれいな水だったので、きれいな水になってほしいなと思いました。

桃佳

今回の行事に参加して、一番心に残っている事は、岩をめくると、カゲロウやヒラタドロムシ、オオシマトビケラなどがたくさんくっついていました。なぜかという、岩をめくってみるまで、何びきいるか分からないから、たくさんいるとなぜかうれしくなるからです。

昂生

今回は、ヒラタドロムシ類やカワニナ類、オオシマトビケラが多く見つかりました。以前、工事があった時は見つかった生物の種類や数が少なかったのですが、今回はたくさん見つかったので良かったです。結果は、ややきれいな水でした。いつかきれいな水になればいいと思います。水量が少なかった。きたない水、とてもきたない水の生物がいなくて良かったです。

成穂

コオニヤンマを見つけた人がうらやましかったです。やく3cmのカワゲラをつかまえてほめられたので、うれしかったです。スジエビを手づかみで2ひきもつかまえたので、うれしかったです。

航

知らない虫の名前をしれたので、ベンキョウになりました。わたしは、あしだがわは入るのはじめてだったから、いいたいけんになりました。

にこ

水質調査を体験できて、とても勉強になりました。水中の虫の数を数えたり、大変だけど、大勢で楽しくできました。子どもと一緒に「きれいな水」の虫が増えたらいいね、と話をしました。

保護者

天候にも恵まれ、気持ち良く調査できました。今回は2回目で、やり方に慣れていたものの、トビケラ類の見分けが難しかったです。親子共々、楽しくすごすことができました。ありがとうございました。

保護者

今年もたくさんの生き物が見つかって良かったです。調査してみて、上流の水はきれいなのに、下流にいくと汚れてしまうのは残念です。

保護者

水生生物調査結果一覧表

調査地		府中新橋										
水生生物の名前		01	02	04	05	07	09	10	11	12	13	14
きれいな水	ウズムシ	○	○	○	○	○		○	○		○	○
	ナガレトビケラ類	○	○	○	○					○	●	○
	ヒラタカゲロウ		○	○	○	○	○	●	○	○	○	
	カワゲラ					○	○	○	○	○	○	○
	サワガニ											
	ブユ			○	○					○		
	ヘビトンボ									○		
	ヨコエビ									○		
	ヤマトビケラ			○								
少しきかない水	オオシマトビケラ	●	●		●		○	○	○	○	●	○
	カワニナ	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	●
	コガタシマトビケラ	○	○	●	●	○	○	○	●	●		○
	スジエビ			○	○	○	●	○				
	ヒラタドロムシ	○	○	●	○	●	●	●	●	●	○	●
	コオニヤンマ	○	○			○	○	○	○			○
	ヤマトシジミ			○		○						
	ゲンジボタル									○		
きたない水	タニシ	○	○	○						○	○	
	ヒル	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
	ミズムシ	○										
	イソコツブムシ											
	ミズカマキリ									○	○	
	タイコウチ		○				○					
大変きかない水	サカマキガイ	○							○			
	アメリカザリガニ						○					
	セスジユスリカ											
	エラミミズ			○								
種類の合計		11	11	13	9	10	11	10	10	14	10	8

●印…多く見つかった生物

川の通信簿をつけてみませんか

国土交通省主催行事

日時 2014年9月7日(日)9:30~15:30

場所 河佐峡 新市 郷分 竹ヶ端

参加者 メンバー 4名 家族 3名

サポーター 大野 北川 岡田

◆目的◆ 河川空間の親しみやすさを、いろいろな角度から点検調査をして評価し、これからの芦田川の整備計画や日常の維持管理に反映する。

◆内容◆

9:30 見る見る館集合・説明

- ・点検箇所は、スポーツ、イベント、散歩、自然観察等に利用されている。
- ・現地で見て感じたことを「点検シート」に記述する。
- ・点検シートでは、「自然の豊かさ」「水のきれいさ」「流れている水の量」「利用しやすさ」や、芦田川への「近づきやすさ」等15項目について、現在の状況、今後の整備の必要性などについて評価する。
- ・点検箇所へは、バスで移動する。



総合評価 ☆☆☆☆☆…すばらしい ☆☆☆☆☆…相当よい ☆☆☆☆☆…普通 ☆☆☆☆☆…悪い ☆☆☆☆☆…相当悪い

10:30 河佐峡

★★★★

- ・水域は渓流環境となっており、水のレクリエーションの場として利用されている。
- ・水際は緩傾斜の自然石護岸が整備されており、水遊びや釣り、子ども達の生物学習などに利用される。
- ・高水敷は多目的広場や散策路、堤内には各種のサービス施設があり、豊かな自然環境を楽しめる観光・レクリエーションとして利用される。
- *トイレやシャワー、休憩所等の施設が整っていた。
- *当日も水遊びやバーベキューを楽しむなど、若いグループや家族がたくさん訪れていた。

河佐峡



11:30 新市左岸

★★★

- ・高水敷は、芝生が張られた多目的広場となっており、地元住民の散策の場として利用されている。
- ・水際は、下流側では緩傾斜自然石護岸等があり、水遊びなどで利用されている。
- *地域の方が手入れされている花壇があった。
- *緩傾斜自然石護岸は、子どもの背丈ほどの草が茂っていて水際には近づけなかった。

新市左岸



12:20 昼食 休憩（見る見る館）

13:20 郷分右岸

★★

- ・高水敷は、芝生が張られた多目的広場や川に沿って散策路があり、地元住民の散策の場として利用されている。
- ・水際は、緩傾斜自然石護岸やワンド等があり、水遊びなどで利用されている。
- *水際の川は、水が少なく淀んでいたりと、泥濘（ぬかるみ）の状態だった。
- *芝生の広場も殆ど草で覆われ、散策路の両側も背丈ほどの草が茂っていた。

郷分右岸



14:20 竹ヶ端右岸

★★★★

- ・河口湖の静水性や河口特有の広々とした開放的空間を生かしたスポーツレクリエーション空間。
- ・水面は、レガッタ等の水上スポーツに利用されている。
- ・散策道、トイレ、休憩所が整備され、春には桜の花見などが可能。
- *辺りはテニス等スポーツをする人で賑わっており、散策道は木陰や休憩所があり、河口湖が見渡せた。

竹ヶ端右岸



15:10 見る見る館 アンケート回収

15:30 解散

河川広場を利用することで、川に興味や関心を持ったり、川に親しんだりする機会が増えると思う。しかし、せっかく河川広場を整備しても維持管理が不十分だと利用し難い。今回点検調査した4か所の中で、河佐峡は、水際も高水敷も整備され、施設も整い、維持管理もきちんとされていて、豊かな自然を楽しめる河川空間だと改めて実感した。いつもは、芦田川の生き物調査を主に行っているが、今回のように違った視点からの調査も子ども達には新鮮だったようだ。お世話や指導をして下さった国土交通省のみなさん、有り難うございました。 サポーターより

感想

いろいろな所を、いつもとちがう見方で見れて楽しかったです。散歩しにきたいところが何か所もありました。 創志

わたしがしらべたばしょは、ごみがありませんでした。でもあそべそうなところは、すくなかったです。かわさきょうには、あそびにいきたいです。 ひかり

今回の行事では、芦田川の4つの地点で調査をしました。どの地点でも、すごく自然が豊かでないところだと思いました。それに、河佐峡や竹ヶ端では、みんなが楽しめるように整備がきちんとしてありました。この場所の自然がきれいにずっと保てればいいなと思いました。 桃佳

いつも、水質やそこに住む生き物しか調べていないのであまり周囲の環境に目を向けていませんでした。でも、今回で川と親しむには環境も大切だと気づくことができました。 朋花

いつもと違う視点で川を観察できて楽しかったです。もっと整備され、今以上に川辺で過ごしやすい状態になればいいなと思います。 保護者

芦田川の4地点を調査しました。上流の河佐峡は、とても自然豊かな所で大切にしたい場所だと思いました。芦田川の流域には、私達が川に親しめるように整備されているので、多くの人に知ってもらいたいと思いました。 保護者

芦田川の場所によって、自然が豊かな場所、人が過ごしやすい所と色々な場所があるんだと初めて知りました。子どもが遊べる所では、トイレがきれいな事が一番必要な気がします。 保護者

ウェットランドで植物調査をしよう

国土交通省主催行事

日時 2014年9月28(日) 9:20~14:40

場所 瀬戸川下流 ウェットランド(植生浄化施設)

参加者 メンバー 6名 家族 4名

サポーター 大野 北川 岡田

◆目的◆ 芦田川下流の水質を改善するため、芦田川に合流する直前の瀬戸川に、植生による水質浄化を目的に造られたウェットランドで、植物の観察・調査を行い、植物の水質浄化について学ぶ。

◆内容◆

9:20 集合 受付

9:30 調査方法の説明 諸注意

<ウェットランドとその現状について>

●ウェットランドは、水質悪化を改善するため、水辺に植生による水質浄化を期待し抽水植物などの水草が植えてある。(水が汚い→栄養がありすぎる→植物に吸収してもらう→水がきれいになる)

●1~3班のワンドは、昨年度状になっていた高い部分を削って、平らな傾斜地にする工事を行った。
…植生が広がり、動植物の生息・生育・繁殖の場を回復させるとともに懸濁物質の沈殿効果を図る。

調査方法

5班に分ける。1つの班が1つのワンドをボートに乗って調査。
(ワンド：川岸にあり、川の流れから区切られた入江のような淀み)

① 植生(植物群落)の位置の確認

番号を記した杭(4m間隔で設置)を参考に、植生の分布範囲・名前を確認する。

植物の名前は、写真やフローチャートを参考に判別する。

② 野帳へ記入

確認した植生の分布範囲・名前を記入。

③ボートで移動しながら、順に野帳に記入し、1つのワンド全体を調査

注意事項

- ①水際の岸には足を踏み込まない
- ②ライフジャケットを着用する
- ③ボートの中では立ち上がらない
- ④助けが必用な時は、ウェットスーツの保安員に連絡する。
- ⑤水分補給をするなど暑さ対策をする。

植物や植物の見分け方についての学習

現地で確認されている植物

①抽水植物(根本が水中)



ショウブ



キョウスメヒ

②抽水・陸上植物



ハッカ



ヒメシソ



ヤナギタデ



ヨシ

③沈水植物(全体が水の中)



セキショウモ



クロモ

④陸上植物



セイタカヨシ



オギ

*植物判別のフローチャートの見方

9:50 ボートに乗船し、移動 調査開始

10:50 調査終了

11:00 見る見る館へ移動、昼食休憩

12:30 調査結果のまとめ（マップ作り）

- ① 班ごとに野帳の記入内容を清書用紙に書き写す。
- ② 植生の分布範囲を色見本通りに塗り、色分けする。
- ③ 見つかった植物の写真を貼り、マップを作る。
- ④ 各班の調査結果を合わせる。
- ⑤ 班ごとに発表

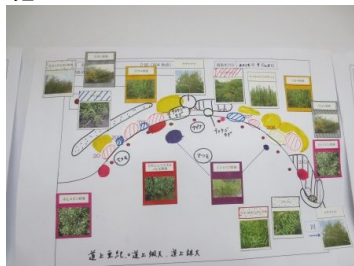
各班の植生マップ

1 班



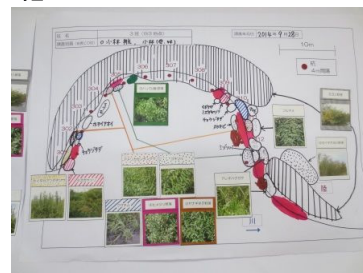
背の低い植物・田んぼなどに生える植物が多かった。

2 班



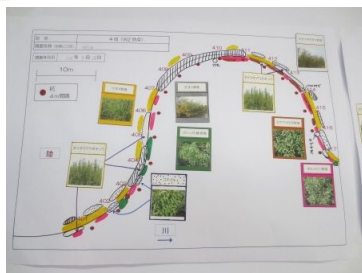
アゼナなど田んぼに生える植物もあり、昨年刈ったことによって多様性がおきている。

3 班



ヨシが多い。流れついた植物もある。

4 班



ヨシが多い。セイタカアワダチソウが増えている。

5 班



ヨシが多い。ゴキツルの大きな群れがある。ジャンボタニシの卵があった。

- ・セイタカアワダチソウ…根から毒をだして他の植物の繁殖を妨げる。（アレロパシイ）
- ・ゴキツル…実が軽いので浮いて流れる。大阪など場所によっては、貴重種。
- ・マコモ…食用になる。
- ・ツルマメ…大豆の原種。



ゴキツルの実

4・5班の調査したワンドは、昨年と同じく今年も水を浄化するヨシの植生が多く安心した。1・2・3班の調査したワンドは、大雨や台風などによる増水で段ができ2極化していたのを高い部分を削って傾斜地にする工事を行い、ヨシなどが植栽されている。水草植生を増やし定着させるため、水域から陸へと段々背の高い植物が生育していくエコトーンを期待している。しかし、エコトーンも年月がかかり自然を利用した水質浄化の難しさがわかった。

指導やお世話をしてくださった皆さん、有り難うございました。

サポーターより

◆◆◆◆◆ 感 想 ◆◆◆◆◆

私は今回の行事に初めて参加しました。初めて見る植物ばかりで最初は何の植物が分からなかったのですが、見ていくうちに少しずつ分かるようになってきてすごくうれしかったです。私の班ではヨシが減ってセイタカアワダチソウという外来種で他の植物のじゃまをする植物が増えてきていたので、ヨシなどの芦田川をきれいにしてくれる植物がふえてほしいです。そして芦田川がきれいになってくれたらいいと思いました。

桃佳

ゴキツルをひらいたら、タネがでてきて、ふたがおちやわんみたいだったです。

ところどころにヌートリアのうんちがうかんでいました。さいしょはソーセージだと思ったけど先生に教えてもらったら、ヌートリアのうんちだとわかりました。

航

ボートにまたのってちょうさができたのが楽しかったです。(場所によっては) きちょうしゅのゴキツルがたくさん見つけれたり、ジャンボタニシのたまごも見つけたのがうれしかったです。

一葵

参加者が少なめでしたが、それだけに皆ちゃんと調査しなければ!!というヤル気に満ちていたように思いました。植物より生き物がつい気になってしまうところではありましたが…。いつも皆様のおかげで無事終えているという感じがします。

保護者

植物で芦田川をきれいにする取り組みがされていることが分かりました。ヨシとセイタカヨシとオギを見分けるのが難しかったです。マップ作りも難しかったです。

保護者



魚調べ

日時 2014年10月19日(日) 10:00~15:00
場所 午前：府中POM前 出口川
午後：芦田川・府中大渡橋下
参加者 メンバー 8名 家族 6名
サポーター 大野・北川・早川・高橋
講師 古本哲史先生(盈進中学高等学校)

- ◆ 目的 ◆ 芦田川・府中大渡橋下と出口川の水辺の生き物調査を行う。
捕まえた魚の種類・数等から生息状況・環境状況を知る。
また、魚捕りなどの体験を通じて、川に親しみ、それぞれの川の状態を知る。

◆ 内容 ◆

10:00 府中POM駐車場集合 10:10 調査方法・注意事項の説明

～魚のとり方～

- ① 上流に向かって、川の底に網をかまえ、上流側から魚を追い込む。
- ② 草の生えているところに魚はいる。
網をかまえ草むらを足で軽く踏む。
- ③ 石の下に網を置き、石を足で退ける。

- ・川の魚を調べることに意味がある。
日本は周りが海なので、川の魚は他へ移動できない。その川にしかいない。
- ・魚を手でつかまない。
鱗がとれるので濡らした手でつかむ。

10:20 出口川にて魚の捕獲

11:20 魚の同定

芦田川の魚たち下敷きでチェックし、
捕まえた魚にシールを貼る。

生息状況等の説明



カワヨシノボリ
オスの背ビレが高く
たっている。



カワムツ
ヒレが黄色。(ヌマムツ
はムナビレが赤色。)



コウライニゴイ
芦田川では増えている。
貝などを食べる肉食。



ムギツク
ドンコの巣を襲って、
ドンコの卵を食べる。

* 捕れた魚 * (13種類)

・カワヨシノボリ ・カマツカ ・ドンコ ・ムギツク ・オイカワ
・カワムツ (一番多くいた) ・ギギ ・メダカ ・コウライニゴイ
・ギンブナ ・イトモロコ ・タモロコ ・タイリクバラタナゴ

12:00 昼食・休憩

12:50 芦田川 府中大渡橋へ移動

13:10 注意事項説明

13:20 府中大渡橋にて魚の捕獲

14:20 魚の同定 (芦田川の魚たち下敷きでチェック)

生息状況等の説明

* 捕れた魚 * (10種類)

・アカザ ・ギギ ・ドンコ ・オイカワ ・カワムツ
・カワヨシノボリ (一番数が多い) ・カマツカ
・ギンブナ ・イトモロコ ・ブルーギル



アカザ
夜行性で昼は石の下に
いる。水がきれい
で石がごろごろ
している所に
いる。



- ・ここはダムの水が流れているが、蛇行し、川の中に石があることが川の良い状況をつくっている。
- ・今回、シマドジョウが見つからなかったことが残念。

川の水が少なく参加者も少なかったため、魚がどのくらい見つかるか少し心配だったが、出口川では13種類もの魚を捕まえる事が出来た。府中大渡橋でも、早々とメンバーが希少種のアカザを捕まえ、ここでも10種類の魚が見つかった。シマドジョウが見つからなかったのは残念だったが、たくさんの魚の種類がいる芦田川の豊かさを実感できた。秋晴れのもと、サポーターも子ども達と共に、川の中で魚捕りを存分に楽しむことができた。指導して下さいました古本先生、有り難うございました。サポーターより

感想

今回の魚調べは、とても天気が良く楽しく魚を捕ることができました。出口川では13種類、府中大渡橋では10種類の魚が見つかりました。よかったことは、希少種のアカザが今年も見つかったことです。だけど、毎年見つかったシマドジョウが見つからなかったのが残念でした。来年は、もっと多くの種類の魚が見つければいいなと思いました。 桃花

今年は出口川には参加できず、府中大渡橋だけ調査しました。今年もアカザが見つかったので良かったです。でも魚の数や種類が少なかった気がします。また、ブルーギルが見つかったことが残念でした。シマドジョウやギギなど例年なら見つかる魚が見つからなくて残念でした。 成穂



今回の魚調査で、参加人数は少なかったけど、いろいろな魚が見れました。中でも、アカザがたくさんとれました。アカザは川でも上流の魚に分類され、ドロやゴミのないきれいな川にすんでいる魚なので、このまま、きれいな芦田川をみんなで守っていきたいです。 悠平

魚をつかまえるコツがわかって、小さい魚を何匹かつかまえました。元気の良い魚で、何回かバケツから飛び出しそうになってとても困りました。川に色々な魚がいる事がわかって良かったです。 日向子

出口川の上流は深いところが多かったけど、下流はあさくてドンコがたくさんとれることがわかってうれしかったです。 一葵



はじめは、13しゅるいいけどつぎは10しゅるいでした。なので3しゅるいもちがいました。ブルーギルは、はじめてだったので、つかまえた人がうらやましかったです。いろいろな魚がとれてうれしかったです。 航

わたしが一番心にのこったことは、ドンコをつかまえたことです。はじめはただ黒い魚に見えたけど、よく見たらかわいいかおがありました。きょ大魚をつかまえれなかったから、くやしいです。 にこ



保護者の感想

- 晴天に恵まれ、皆んな楽しく夢中で捕ることができました。水がいずれの場所も少なめで、草も刈ってあったので、魚が少ないと心配でしたが、たくさん（数・種類）見つけられて良かったです。ありがとうございました。
- 今年は台風の影響で一週間おくれの魚調べとなりました。アカザが早々に見つかり数も多かったのがびっくりしました。捕れた魚の数が少なかったのと、例年なら捕れた大きなドンコやギギが捕れなかったのが残念でした。ブルーギルも捕れていて心配です。定点で調査をする大切さが分かりました。
- 自然とふれあうことができて良かったです。いろいろな事を教えてもらいながらだと興味が広がります。子どもも同じように感じていたと思います。ありがとうございました。
- 川の魚をみることができて面白かったです。みなさんひと目見ただけで、魚の種類を当てているのでスゴイと思いました。
- 今年の魚調査は久々の参加でしたが、めずらしいはずのアカザがいっぱいいてビックリでした。
- 今回のように直接魚に触れるような行事は、子ども達がとても楽しそうでいいですね。

魚調べ結果一覧表

府中大渡橋										調査地		出口川													
05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	魚の名前		03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14		
	○			○		○	○	○	○	上流にすむ魚	アカザ														
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		カワヨシノボリ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		カワムツ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○		○	○	○	○	○	○	○		中流にもすめる魚	シマドジョウ	○	○				○								
○											アユ														
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		オイカワ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		○	○	○	○	○	○	○	○		ギギ		○		○	○	○			○	○		○		
		○	○				○				ズナガニゴイ			○	○	○	○			○					
○		○		○	○	○					ムギツク	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○		○	○	○	○	○	○	○		カマツカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		○	○	○	○	○	○	○	○		ドンコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			○				○	○			コウライニゴイ					○	○	○	○		○	○	○		
			○			○		○	○		イトモロコ			○	○	○	○			○			○		
											カワヒガイ					○	○								
										下流でもすめる魚	メダカ											○	○		
											ナマズ						○	○				○			
			○								ヤリタナゴ														
											カネヒラ							○							
											タイリクバラタナゴ									○	○		○		
				○							タモロコ				○			○	○					○	
											ドジョウ						○								
											ニゴイ			○											
									○		ギンブナ	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	
						○			○		ブルーギル										○				
											オオクチバス								○						
7	5	8	11	10	8	11	10	10	10	種類の合計		7	8	9	11	12	15	11	9	11	11	10	13		

バードウォッチング

日 時 2014 年 11 月 30 日 (日) 10:30~12:00
 場 所 芦田河口湖(市民球場周辺)
 参加者 メンバー 15 名 家族 16 名
 サポーター 大野 北川 岡田 高橋 幸田
 指導者 日本野鳥保護連盟芦田川分会の青木隆司さん、
 豊田千春さん

◆目 的◆ 芦田川河口湖、市民球場周辺、ウェットランド周辺の鳥を観察し、飛来実態・環境の状況を知る。

◆内 容◆

10:30 開会あいさつ 講師紹介

● 鳥を見分けるには、資料に印している矢印の特徴をポイントとして見つける。

双眼鏡で観察する時は、
観察したい鳥を見つけて
そのまま双眼鏡を目にあてる。

I 河口湖右岸より観察

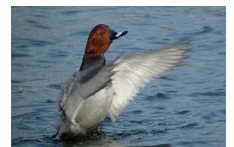
★河口湖周辺の鳥の数

カモメ類…2000羽 カモ類…400羽

- ① カンムリカイツブリ…広島県内の他所ではめったに見られないが、
ここでは毎年見ることができる。今年は20羽程いた。
- ② ホシハジロが、多くいた。頭が茶色。
- ③ カワウが観察している間、ずっと羽を広げている姿や、
水面から助走して飛び立つ様子を見ることができた。
- ④ ミサゴ(準絶滅危惧種)が山の中腹の木の枝や海にある
杭の上に止まっている姿や、何度も低空で飛んでいるのを見た。
- ⑤ トビ…尾が三味線のバチの形をしている。(ミサゴの尾は丸い)
- ⑥ セキレイ…波状飛行をする
- ⑦ イソシギ…水面近くを飛ぶ。市民球場周辺は、今回観察できなかった。



①カンムリカイツブリ



②ホシハジロ



③カワウ



④ミサゴ



⑤トビ



⑥セグロセキレイ



⑦イソシギ

・街灯の上に、黒っぽいウミネコと大きいセグロカモメの2羽が並んでいるのを観察し、口ばしや足の色の違い・特徴を確認することができた。

カモメ類の見分け方

比べてみよう!!



ウミネコ
羽が黒い。足が黄色で口ばしの先が赤い。



ユリカモメ
口ばしと足が赤い。河口湖のカモメの中では、一番多く、一番小さい。



セグロカモメ
河口湖のカモメの中では、一番大きく、口ばしに赤い点がある。



カモメ
足と口ばしが黄色

11:50 鳥合わせ 鳥合わせ表を見ながら、見つけた鳥を報告し合ってチェックする。

今回見つけた鳥 25 種類

カイツブリ カンムリカイツブリ、イソシギ、ホシハジロ、スズガモ、マガモ、カルガモ、ヒドリガモ、ユリカモメ、カモメ、ウミネコ、セグロカモメ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、カワウ、ミサゴ、トビ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、スズメ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、

12:00 解散

今年も、カンムリカイツブリ、ミサゴ、そしてたくさんのホシハジロとカモメ類を観察することができた。岸に近い所で、カンムリカイツブリが何度も水の中にもぐっているのを肉眼で見ることができたのがよかった。子ども達は、山の木に止まっているミサゴの姿や、大きな羽を広げて立っているカワウの様子が印象的だったようだ。望遠鏡で、カモメ類の大きさや口ばしと足の色の違いによる見分け方を教えて頂きながら観察し、それぞれの鳥の特徴も確認することが出来た。

指導して下さいました青木さん、豊田さん有り難うございました

サポーターより

感想



今回のバードウォッチングでは参加人数が多かったので望遠鏡をのぞくことがあまりできませんでした。青木先生に鳥の特徴を教えてもらいながら観察することができて良かったです。また、トビとミサゴの見分け方を教えてもらい分かるようになりました。ミサゴを今年も見れてうれしかったです。

桃佳

芦田川河口湖にバードウォッチングに行きました。3年ぶりの参加で楽しみに行ったのですが、暖かかったせいか、思ったほどたくさん鳥の集団を見ることができませんでした。それでも望遠鏡でカイツブリやカモメを見ることができました。ミサゴが3匹声をあげて上空へ舞い上がっていくところを間近で見てびっくりしました。

雅樹

ミサゴが魚を食べているところを見たかったけど見られなかったのがざんねんでした。いろいろな鳥が見られたのでうれしかったです。ミサゴとトビがかっこよかったです。カワウがへんなポーズをしていました。さいしょは、カワウかなあと考えていたら、それがカワウでした。今日はとても楽しかったです。

航

ウミネコという鳥は海にしかないものだと思っていたので、川にもいることを知り、実際に姿を見て、驚きました。普段身近にいる鳥をじっくり眺めることはなかったので、今日の行事を活かして、もっと鳥に興味を持とうと思いました。

美有香

ミサゴがとても大きく見れたことがうれしいです。カンムリカイツブリやカワウやトビがたくさん見れて良かったです。来年もして下さい。

創志

私は、今回のバードウォッチングで、双眼鏡や望遠鏡をうまく使いながらたくさんの鳥を観察することができました。また、ホシハジロがたくさん川辺にいたので勉強になりました。そして、街灯の上や森の中などあらゆる場所に鳥がいたので、とてもうれしかったです。

咲葵

今日のバードウォッチングは、たくさんの鳥を見ることができました。青木先生にトビと、ミサゴの見分け方を教えてもらい、見分けがつくようになりました。他にもカンムリカイツブリやカワウも見れました。このまま見れる鳥がどんどん増えてほしいです。

悠平

今年はカンムリカイツブリがよく見れました。また、ユリカモメやウミネコなどの違いが実感できました。河口湖の鳥しか見られなかったのが残念です。でも、準絶滅危惧種のミサゴがくいや木に止まっている様子が見れたのはうれしかったです。

朋花

ぼうえんきょうでカンムリカイツブリを見たら、本当にかんむりみたいなのが、ついていたので、おもしろかったです。それとウミネコとカモメも、よく見ると、ぜんぜん違ったので、勉強になりました。あと海の方で、何かの鳥が全く動かずに羽を広げて立っているので、ふしぎでした。

陽大

わたしがーばん心にのこったことは、かんむりかいつぶりのことです。とてもめずらしいというので、見れて良かったです。じゅんぜつめつきぐしゅの鳥も見れて良かったです。

にこ

保護者の感想

- * 暖かい日に鳥の観察ができて良かったです。天敵から身を守るためには、鳥たちが群れになっていることを教えてもらいました。鳥の特徴も他の鳥と比べながら教えていただいて良かったです。ユリカモメは胴が短くて飛んでいる様子がかわいかったです。
- * 久しぶりのバードウォッチングでしたが、気温のせいかもしれないのが残念でした。でも、ミサゴやカンムリカイツブリを見ることができて良かったです。カワウが長い時間羽を広げている姿がとても印象的でした。
- * 今年もミサゴを見ることができました。しばらく羽を広げたままのカワウの姿を初めて見て、思わずどんな気持ちなのかな？と考えてしまいました。普段、ゆっくりとバードウォッチングが出来ないので楽しかったです。
- * ミサゴが山で木に止まっている所がすごくカッコ良かったです。昨年のようにもう少し時間が長いと、運動公園側の鳥も観察できるので良いと思いました。
- * 群れになっている鳥の中に、必ず違う種類の鳥がまじっていると聞き驚きました。羽を大きく広げているカワウがとても印象的でした。
- * お天気も良く、楽しく観察できました。カンムリカイツブリがきれいでした。
- * みちかにいながら見すごしていた鳥の名前や姿をじっくりみることができて大人も勉強になりました。これから子どもと野鳥の話もできそうで楽しみです。ありがとうございました。

バードウォッチング調査結果一覧表

留 鳥

種類 \ 年度	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14
カイツブリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○
カワウ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
アオサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コサギ	○	○	○	○	○	○	○	○			○			○	○	○
ダイサギ	○	○	○	○	○	○			○				○		○	○
ゴイサギ			○												○	
カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ミサゴ				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トビ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ノスリ		○		○												
キジ		○														
キジバト	○	○	○	○	○	○		○	○		○		○			
カワセミ	○	○		○		○				○						
ヒバリ						○										
ハクセキレイ	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
セグロセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
ヒヨドリ	○	○			○	○	○		○		○	○	○	○		○
モズ	○	○	○		○							○				
シジュウカラ					○					○						
カワラヒワ		○			○						○					
スズメ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○
ムクドリ	○	○	○	○	○	○		○	○						○	
ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
ハシブトガラス		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チョウゲンボウ						○										
メジロ								○	○							
バン		○														
オオバン				○				○		○						
イソシギ	○	○	○		○			○	○		○	○	○	○	○	○
ウミネコ	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	18	22	17	16	21	20	13	17	18	14	16	15	16	12	16	16

渡 り 鳥

種類 \ 年度	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14
ハジロカイツブリ				○									○			
カンムリカイツブリ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マガモ		○	○	○	○	○	○			○			○	○	○	○
コガモ	○	○	○	○	○	○	○	○								
オカヨシガモ	○					○										
ヒドリガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハシビロガモ	○	○	○	○	○	○		○				○				
スズガモ				○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○
オナガガモ	○		○	○	○											
トモエガモ								○								
ホオジロガモ													○			
ホシハジロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キンクロハジロ	○			○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	
ミコアイサ	○		○													
カワアイサ			○													
カモメ				○		○		○			○	○	○	○	○	○
セグロカモメ	○		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ユリカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アオジ		○														
オオジュソン		○														
ジョウビタキ	○				○		○	○	○	○	○	○				○
ツグミ												○				
計	12	8	11	12	10	12	10	12	7	9	9	11	10	9	8	9

合 計	30	30	28	28	31	32	23	29	25	23	25	26	26	21	24	25
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

